

令和元年6月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

6月の業種別景況の前月比DI値は14業種の内、好転が2業種、前年同等が8業種、悪化が4業種で、全体の景況感DI値も5月より悪化している。

卸売業では、夏場の冷凍冷蔵商品の取扱量が増加している。一方、食料品や窯業・土石製品では、大型連休の反動から観光客数が落ち込み売上が減少したとの報告があった。

山口県の中小企業は、コストアップによる収益の悪化と慢性的な人手不足が続いている。また、消費税増税に対する不安の声もある。

山口県の主要指標 DI 値（令和元年6月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、好転：7.5% 悪化：33.8% DI値：▲26.3% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、増加：15.0% 減少：38.8% DI値：▲23.8% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、好転：10.0% 悪化：31.3% DI値：▲21.3% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（令和元年6月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲71.4	▲25.0	▲33.3	▲100.0	▲33.3	11.1	0.0	▲30.3
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
20.0	▲33.3	▲75.0	▲27.3	▲30.0	0.0	0.0	▲23.4	▲26.3
								

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	原材料の価格上昇が止まらず、苦慮している。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	雇用状況が好転し、6月より欠員の補充が出来た。	パン・菓子製造業 下関市
	売上は対前年同月比+4.6%。梅雨入りが遅く比較的天候の良い日が続いたためアップとなった。平日の売上は概ね順調に推移するが、土日の売上がやや伸び悩んでいる。GW10連休後の萩市への観光客数が大幅に落ち込んでいる感触で、天候の悪いこともあって7月の出足は厳しい。既にキャッシュレス化しているレストラン部門に加え、本年10月より物販ゾーンのPOSレジ11台も、キャッシュレス対応することに決定した。	水産食料品製造業 萩市
	10月以降の消費低迷が懸念事項。還元などシステムに売り手側の不公平感がある。システムなどの対応が大変面倒。ここにきて運送費の値上げが高まり、非常に困っている。食品の値上げも続いているが、消費に結びつくかは不透明。	水産食料品製造業 下関市
	地球温暖化の影響で雨が少なく、水稻などの農作物の生育に影響が出ている。6月末には、九州で記録的な大雨が降るなど、気候変動に伴う異常気象のせいか、過去の知見が全く活かさない状況となっており、企業経営における天候リスクがさらに高まってきている。	精穀・製粉業
繊維工業	新規開拓の営業を行っているが厳しい。少ロット商品の話はあるが生産性を考えると受注に踏み切れない。既存の受注先とも協議し、先物の発注を確保したい。	外衣・シャツ製造業 萩市
	生産状況は、特に過不足なく例年通りの状態。特に問題は無い。	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市
木材・木製品	梅雨時期に入り、一般製材の需給が年間を通じて最も低い時期であり、売上についても低調な状況。	製材業・木製品製造業
印刷	用紙値上げに伴う製造メーカーの出庫制限により、用紙調達が困難な状況が続いている。ただ、業界としてはこの用紙値上げを機に、より付加価値をつけて受注価格全体の値上げができるよう業界をあげて取り組みを開始した。	印刷 下関市
	受注は低迷している。	印刷 山口市

窯業・土石製品	<p>6月の出荷量は、 (平成30年6月) 骨材 112%、路盤材 116%、 再生材 83% ↓ (令和元年6月) 骨材 92%、路盤材 89%、 再生材 102%</p>	砕石製造業
	<p>出荷量は、前月比 92%、前年同月比 94%。現時点では、 セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じてい ない。生コン販売価格は県内で上昇傾向。</p>	生コンクリート製造業
	<p>もはや、同業者同士の話し合いの中から新しい事は生 まれそうにない。加工のノウハウはあるので、アイデ ィアはあるが加工技術を持っていない方とのビジネス マッチングを早期に考えなければならない。</p>	石工品製造業
	<p>萩市内においては、5月の10連休等で賑わった反動 なのか、大幅な観光客の減少と売上の減少が目立った。 ギフト・卸関係・百貨店の受注は昨年同月と変わらず、 浅草アンテナショップ「萩の風」の売上げも、昨年同 様であった。</p>	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	<p>5月からの周南コンビナート企業の定期点検が6月中 旬まで続いたが、中旬以降は少し落ち着いた。組合員 の中では定期点検が続いているところもあり、忙しい 事業所と暇な事業所との差が出てきつつある。</p>	下松市
	<p>6月の景気は個々には差があるが、全般的には前月同 様に安定して推移していると考えられる。自動車関連、 県内大型構造物を製作する設備関連はいずれも順調。 国外は、ベトナム、マレーシアなど東南アジア関係は 10月までは順調。相変わらずの人手不足で、組合員は 個別に外国人労働者の受入れを関係機関と話し合っ ている。米中の貿易摩擦、韓国への輸出規制などの影 響がじんわりとやってくる気配を感じる。</p>	防府市
	<p>食肉加工、惣菜、自動車関係等実習生を入れている全 ての職種で業績は好調。残業も多い。36協定等法律 の遵守を指導。但し、米中貿易摩擦の影響か、一部業 種で若干の業務量減少傾向がある。介護職については インドネシアにてN4取得の研修中で、来年1月の受 け入れに向け準備している。介護職については引き続 き増員の計画あり。制度改正に伴う、3号移行者の入 国も順調。即戦力として活躍している。有効求人倍率 の高止まりに伴い人手不足感が強まり、今後とも技能 実習生は増員の傾向にある。特定技能については、相 談が増えてきており、登録支援機関の申請をしたとこ ろである。今後は、米中貿易摩擦の影響による景気動 向に予断を許さない状況と判断している。</p>	宇部市
	<p>人手不足が続いているが、前年と変わっていない。</p>	宇部市

輸送機器	需要が減少していた圧力容器の製造を取り止めたことにより、産業プラント部門の作業量は減少しているが、車両部門、半導体部門は多忙な状況が継続。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	この時期は夏場の冷凍冷蔵商品が増加するので、海苔以外の商品が入庫し、在庫数量が21.3%増加した。	乾物卸売業
	魚の入荷が少なく価格が安いため、収益は上がらない。	生鮮・魚介卸売業
小売業	梅雨時期にもかかわらず各メーカーの夏季限定商品が売れ、売上がプラスαのアップとなったが、その限定商品の在庫が増加している。梅雨時期は客足が遠くなるので、何かのキャンペーンや、セール等で集客をするお店が多い。4月に新入社員を入れたお店は教育セミナーに行かせている。	化粧品小売業
	6月は合同の展示会を開催して売上は前月に対し伸びた。特にエアコンの売上が良かった。	機械器具小売業
	小売業では消費税増税、軽減税率、キャッシュレス決済、ポイント還元制度など、日々の業務に影響が出る事態を控えて混乱している。国や市、街会社はまるで他人事のように「間に合わない」とあおり立てるばかりで、説明会の実施も甚だしいアリバイ事業で、まったく激しい体温格差を痛感している。商店街や店主の集まりは、この話題に対して真剣に取り組んでいるだけに、今回の温度差は大変な苦情となっていて、その行政の怠慢に対する批判は致命的でさえある。	各種商品小売業 岩国市
	徳山駅前地区の再開発が都市計画決定した。今後数年間、スクラップ&ビルドが続く予定。	各種商品小売業 徳山市
	梅雨入りが遅れ天気の日が多いにもかかわらず、商店街の来客数は少ない。地元の買い物客数も減少しており人通りが少ない。	各種商品小売業 下関市
	核店舗の閉店セール効果もあって全体売上は前年を上回っているが、客数は前年割れとなっている。尚、8月以降は、組合運営そのものが厳しい経営状況となる。	各種商品小売業 長門市
商店街	大手スーパーの撤退により付近の店が打撃を受けており、商店街活動にも非協力的になり、組合の問題となっている。	宇部市
サービス業	梅雨入りが昨年より3週間以上遅かったため、客足が良かったように思う。スタッフを抱えている事業所は、労働力不足により貧乏暇なし。売上高は例年通りのところが多いと思われる。	美容業
	好天気が続き客足も良くなってきているように感じられるが、消費税増税後がどうなるか心配。	理容業

	<p>3月の報告で概要を報告しているが、近年販売される自動車は、先進技術や先進安全装置が搭載され急速に普及している中で、衝突被害軽減ブレーキ等のセンシング装置の整備に関し、国が認めた整備工場でない整備ができないとする、道路運送車両法の改正案が5月17日に成立し、5月24日に公布され1年以内に施行されることとなった。今後、整備業界はかつて経験したことのない環境変化が押し寄せ、技術や設備投資など取り組むべき課題が山積している。小規模の整備工場は対応が難しくなるなど、廃業を余儀なくされる工場が出てくるのが予想される。</p>	自動車整備業
	<p>人出不足が継続中。</p>	スポーツ・健康教授業
	<p>去年の6月が悪かったので売上は相対的に増加となった。しかし、長い目で見ると節約志向やファストファッション化によりクリーニング需要は減少傾向にあるので、先行きの不安と対策を講じる必要があることを感じる。組合員の売上の良し悪しは事業者により様々で、こういった厳しい状況でも売上を伸ばしている店舗もある。地元の飲食店は前年比であまり変化ないように思う。</p>	普通洗濯業
	<p>柳井駅でのきっぷ販売の窓口取扱中止が響いている。</p>	旅行業
	<p>平成30年6月は日本陸上をはじめとするスポーツ大会が目白押しの状況であったので、宿泊人員が平成29年度に比べ25%の伸びであったが、今年度は大会行事が無く例年並みに推移した。</p>	旅館業 長門市
	<p>入浴料の値上げ及び前月までの利用券のまとめ買いにより、売上高は伸びず。収益状況も施設の老朽化等により修理が増加。対応が急務。</p>	旅館業 長門市
	<p>去年は豪雨と猛暑でキャンセルが相次いだ、今年も天候に恵まれ順調な受入れの状況。</p>	旅館業 下関市
	<p>6月は比較的、毎年暇な時期である。スタッフの補充と広報などによる集客努力が、更に必要であると感じている。</p>	飲食業
建設業	<p>中電への工事申請170件(当支部分141件)、前年同月130件(同105件)。太陽光発電への申請31件(前年17件)、オール電化申請111件(前年78件)。LED街路灯への切り替え・新規申請11件(前年24件)であった。消費税引き上げ前の駆け込み需要の始まりが窺える。</p>	電気工事業
	<p>国勢調査では左官技能者数が平成7年から平成27年までの20年間で6割減少している。このため繁忙期の技能者確保に苦勞している。総合工事業者も技能者数の減少を織り込んで仕様変更をしている。</p>	左官業

	今年度は5月の始めから順調に発注がなされており、人手不足もあって忙しい状況が続いている。売上は工事完了後の9月以降となるが、仕事はあるので明るい見通し。しかし、人手不足は昨年より一層深刻化し、特に現場作業員が不足している。そのため入札に参加できない状況も見うけられ、先では外国人に頼らざるを得ない状況になるのではないかと憂慮している。	管工事業
	6月末に発生した山形県地震では、瓦屋根の被害がTVで繰り返し報道された。これにより「瓦屋根は地震に弱い」という風評被害が再発するのではと危惧しているところ。瓦業界として瓦離れを防ぐための地道な努力をせねばならないと覚悟を新たにしている。	屋根工事業
	工場稼働率は下がっていないが、受注物件数、見積件数がやや減少している様子。秋以降の案件に期待している。	鉄骨・鉄筋工事業
	柳井地域においては災害工事が少しあるが、零細企業にとっては好況感はなく、工事量に満足感も無い。働き方改革では、国土交通省で生産性の革命、アイ・コンストラクション、発注時期の平準化、女性の活用、外国人労働者の活用、労務費他経費の公共単価のUP等の施策が行われているが、零細な建設業者は敏感に感じていないし、恩恵も感じていない様子。働き方改革講習会のようなトップタウンなものより技術者の技術研修会の方がボトムアップとなり、零細企業にとっては期待が大きい。	土木工事業 柳井市
	6月の公共工事受注は無し。	土木工事業 周南市
	6月の受注高は、対前年同月比46.7%。今年度の累計では、対前年比96.9%。	土木工事業 萩市
運輸業	国内向け輸送が特に減少。月末になって輸出向け輸送が僅かに増加。減少の一因としては前年の水害による工場閉鎖があったためである。前年同月比で45%の減少。ドライバーの高齢化により特に長距離輸送の減少がみられる。燃料費は0.9円の値上げ。	一般貨物自動車運送業 下松市
	売上高は、対前年同月で11%程度の増加で順調に推移している。燃料費は5ヶ月ぶりに一服したが、米・イランの緊張状態の中、不安要因が多分にある。また、自動車関連を主とする当組合にとっては、トランプ主導の関税問題に今後も景気見通しが左右される。	一般貨物自動車運送業 防府市
	物流業においては、荷物はそこそこ動いている感がある。相変わらず保管案件の問い合わせが多い。人員についての不足が相変わらず続いており、求人広告、ハローワーク等あらゆる手段を使っているが充足するほど採用できていないのが現状である。	一般貨物自動車運送業 宇部市

	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲8.7%（令和1年5月1日～令和1年6月20日分）。5月1日～31日分は▲7.6%、6月1日～20日分は▲10.4%。5月の連休以降の大幅な減少が、ますますひどくなっている。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市、下松市、周南市、防府市の地域で、5月分については、周南▲4.5%、下松▲2.2%、光▲1.8%、防府市地区が▲23.2%、組合員の全域では▲7.3%、地区外（員外）▲11.0%、合計▲7.6%であった。防府地区は前年選挙や大きな祭り等のイベントがあった反動も考えられるが、得意先別の増減については、業種や地域による傾向はあまり無いように思える。全体として大幅な減少になっている。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、CPが下がり（前月532.5\$/トンが今月472.5\$/トン、前年532.5\$/トン）、輸送用バンカーC重油も下がり（前月430.0\$/トンが今月410.0\$/トン、前年440.0\$/トン）、為替は円高（前月112.73円/\$が110.86円/\$）。燃料単価は前月比▲5.5%、前年6月分比も▲.5%と下がった。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足している。労働条件の改善もあり、消費税増税に合わせて運賃改定が行なわれることになったが、景気状況によっては、料金を増額したために利用が減り、かえって売上が減少する事も危惧されている。</p>	一般旅客自動車運送業
	<p>米中貿易摩擦の激化や、中国経済の急減速などによる輸出入の減少により取扱量が減少傾向。</p>	港湾運送業
<p>その他 非製造業</p>	<p>技能実習に特定給食施設が技能として追加された。それに伴い当組合も変更申請(職種追加)をし、現在各事業所様に営業活動を行っているところ。</p>	介護事業